おしゃれや恋愛…
一歩踏みだすきっかけに

『Co-Co Life（ココライフ）女子部』

無料で通える教習所があるなど役に立つ情報も！

障がいのある女性たちがつくるフリーペーパー

さまざまな障がいのある女性たちがモデルや編集・取材にかかわる、フリーペーパー『Co-Co Life（ココライフ）女子部』（NPO法人「施無畏（せむい）」発行）。障がいをもつゆえにおしゃれや恋愛に消極的になりがちな同世代の女性に向けて「一歩踏み出すきっかけに」と発信しています。11月には第2号を刊行。女性たちの挑戦が始まっています。

当事者の目線で

東京・中野区にある事務所を訪ねると、刷り上がったばかりの『Co-Co Life 女子部 vol.2』の発送作業中でした。

第2号の内容は――。

「女子会 教えて！ バリアフリーな恋愛テクニック」では、セックスをテーマにさまざまな障がいのあるメンバーによる本音トーク、また京都のパワースポットをめぐる街散歩など、「女子力」をアップさせる情報が満載です。

制作スタッフの一人で今回は、ストレッチやグルメなどを担当した是永小百合さん（45）は先天性骨形成不全症です。

「ストレッチは車いすの人はもちろん、オフィスでも気軽にできるよう、QRコード（携帯で撮影すると入力なしでアクセスできる）から動きを確認できるように工夫しました」

コラムと街散歩を担当した山野藍さん（28）も先天性脳疾患があります。

「京都は観光都市ですが、神社や仏閣など、まだまだバリアも多く砂利が敷いてあるだけでも移動の妨げになるので、バリアポイントを紹介しながら、友だちと2人で散歩しようという企画に。取材の日は寒かったけど、すごく楽しかった」と話します。

ほかにも車いすが操作しやすいおしゃれな洋服や、指先が不自由な人にもアイメークできる〝指ぬり〟を紹介するなど当事者の目線を大切にしています。

読者のアンケートには、「スカイツリーに行きたいと思っていました。駅やエレベーターなどの情報はほかの雑誌では知ることができないのでありがたかった」「車いすの人が一人暮らしをするにはどうしたらいいのかを知りたい」「障がいがあるからこそ気づく不満を社会に発表してほしい」「視覚障がい者にかかわる記事も」…など、応援のメッセージや紙面への要望などが寄せられ、好評です。

アクションを起こすきっかけになればと、制作スタッフやモデルも募集しています。「みんなでひとつのものをつくりあげるのってステキだなと感じました。私も紙面づくりにかかわってみたい」「私もモデルをしたいです」と希望者も出てきています。

達成感は人生初体験

『Co-Co Life』は、08年から福祉機器のレンタル・販売会社が有料の季刊誌として発行していましたが、2年前に13号で休刊。当時の編集者・遠藤久憲さん（現プロデューサー）が読者モデルだった渡部あきこさん（29―両下肢機能障害）をはじめ、山野さんや是永さんに、「今度は自分たちでつくってみない」と呼びかけ、今年6月に再スタート。3カ月に1回1万部を発行し、全国の福祉作業所やリハビリ病院など150カ所で入手できます。

自分たちがつくったものが形になってうれしい！（写真左から山野さん、是永さん、渡部さん）

現在、編集制作スタッフは11人。休刊した『Co-Co Life』のモデルだったメンバーがほとんどで、編集・取材経験もなく、ボランティアでの参加です。運営は厳しく、個人・団体からの協賛金などでまかなっているのが現状です。

渡部さんは、「初めてのことばかりで原稿も何度もダメ出しされますが、雑誌ができた達成感は人生初かも。ものをつくるというのはいろんな人に出会えるし、すごく楽しい。大学時代に知り合って先月結婚したばかりの彼も応援してくれています」と生きいきと話します。

自立できる仕事を

「障がいがある人をターゲットにした雑誌が少ないので、もっとひろげていきたいし、ライターになる修行の場にも」と、職場で定年まで働き続けることに不安を感じていた是永さんは、ずっとやりたかった編集の仕事を、と早期退職制度を利用し思い切って退職。現在は、ライタースクールに通っています。

山野さんも、来春、通信制大学卒業後もアルバイトをしながらひきつづきスタッフとしてかかわるつもり。「『Co-Co Life』で、居場所を見つけることができました。障がいがあっても好きな仕事をして自立できる収入が得られれば。そして『Co-Co Life』を通して、きっかけさえあれば楽しく生きられると知ってほしい」と話します。

「もっと読者参加を」「車いすにつけられるかわいいバッグを紹介したいね」と、次号（2月発行予定）の企画へ、夢がひろがります。

問合せ先
ホームページ http://www.co-co.ne.jp 電話 03―5385―2506

編集部から

今年もあとわずか。新年からのしんぶんモニターに応募してくださった方は、継続してもよいという方もふくめ60人近く。次週は新年号を16面（カラー8面）で。新しい年も紙面へのご意見、ご要望をお寄せください！（M）